

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス国立駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ～ 2025年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	83 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年12月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い保護者満足度	お迎え時にお子様の様子を共有している。また、HTでの様子を伝えるだけでなく学校やご家庭での様子を聞き、保護者の意見もうかがっている。	迎えがくるご家庭だけでなく一人帰りのお子様の様子も、電話等でこまめに共有することで、顔が見えなくても信頼してもらえる関係を構築する。
2	居場所としての安心感と個別配慮	余暇時間の遊びについてなるべく制限をかけず、どうすればできるのかを子供と一緒に考え、工夫している。	古くなっている漫画やおもちゃを新しいものにアップデートし、飽きないような工夫を行う。
3	進路支援体制の強化	ディーエンカレッジの進路相談会などの情報を提供することで進路選択に貢献することができている。 また、中高生講座にて「相談したい」と子どもからの申し出があり、都度相談の機会を設けている。	営業活動など交流の機会を増やし、より詳しい情報の獲得に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども満足度の低下傾向	人員の不足により余暇時間に子どもとかわることができるスタッフの減少、スタッフの入れ替わりにより信頼の低下。	十分な人員の確保によりかわる時間を増やし、信頼関係を構築する。 他児とのかかわりを橋渡しすることでHTが楽しい場所と印象付ける。
2	トレーニング効果の不透明さ	教室内で何をしているかが不透明、トレーニングとは何か説明不足。	通信に週ごとのテーマを掲載することで内容を明確にする。 子どもの様子をお伝えする際、どんなトレーニングのどんな場面での様子が詳細にお話する。
3	高学年対応への不安	具体的なアドバイスの不足。	自施設で解決できないときには助言をもらったり、相談会などの情報を集め、保護者へ提示するなど、事業所間で連携する。 積極的に勉強会に参加するなど知識のアップデートを行う。